

(12) がん患者に対する緩和ケアの施行割合

**分子**：分母のうち、「緩和ケア診療加算」が算定された患者数

**分母**：医療資源を最も投入した傷病名が「がん」であり、医療資源を 2 番目に投入した傷病名、主傷病名、入院の契機となった傷病名、入院時併在症名のいずれかに以下の記載がある患者

・頭痛、倦怠感、呼吸困難等の身体的症状または不安、抑うつなどの精神症状

ただし、緩和ケア病棟の入院患者は対象外とする。

なお、「がん」は悪性新生物 (C00-C97)、上皮内新生物 (D00-D09)、性状不詳または不明の新生物 (D37-D48) とした。

また、頭痛、倦怠感、呼吸困難等の身体的症状または不安、抑うつなどの精神症状についてはうつ (F32\$, F33\$)、不安等の神経症状 (F40\$, F41\$, F43\$)、呼吸困難 (R060)、情緒に関する異常所見 (R45\$)、頭痛 (G44\$, R51)、疼痛 (R52\$)、倦怠感 (R53)、がん性ニューロパシー (G130, G131, G132, G631)、イートンランバート症候群 (G731) とした。

**収集期間**：平成 23 年 7 月～平成 23 年 12 月

がんについては「致命的」な疾患というイメージが強いため、患者さんは種々の不安を持つことが少なくありません。また、治癒を目的とした治療に反応しなくなった患者さんに対しては強い痛みや嘔吐などの消化管症状、そして死への不安に対する治療やサポートが、療養生活の質を保証するために不可欠なものとなります。こうしたニーズに応えるものが緩和ケアです。緩和ケアは全人的なケアであり、痛み、その他の症状の医学的コントロールに加えて心理面、社会面、精神面のケアを行うものです。

指標 21：がん患者に対する緩和ケアの施行割合

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
224160042	静岡済生会総合病院	95	48	50.5%
279600070	済生会中津病院	131	14	10.7%
	合計	226	62	27.4%